

モバイルコンピューティングの力でDXを実現

MCPCが描く未来のIT人材育成と今後の展望

DX 社会を創造するために不可欠なキー技術であるモバイルテクノロジーの利活用の拡大に向け技術活動、普及啓発活動、人材育成の 3 つを軸に活動されている、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（以下、MCPC）の事務局 次長 宮坂 敏樹様にお話を伺いました。

MCPCとは

MCPC とは、モバイルコンピューティングシステムの普及促進を目的とする団体です。小型・高性能になっていく携帯電話やノート PC などのモバイル端末と、拡大する通信インフラや高速化するインターネット環境において、より発展的なモバイルコンピューティングの普及を促すべく、1997 年 6 月に設立しました。通信キャリア、コンピュータハード・ソフトメーカー、システムインテグレータや国内外の主要なモバイル・IoT 団体、教育機関など、150 以上の企業・団体が参画・連携し活動しています。

MCPCが取り組むIT人材育成とは

今やモバイル／IoTはあらゆる業種・業務に活用されていますが、国内のDX推進に必要な知識・技術を有するIT人材は不足し、また米国に比べユーザ企業側のIT人材が少ないという傾向があります。MCPCはユーザ企業、ベンダ企業向けにモバイル／IoT人材育成・研修で貢献しています。そして総務省後援の「ワイヤレスIoTプランナー検定」などのMCPCが提供する各種検定試験は多数の企業から取得推奨資格として認定されています。MCPCでは特に人材育成に力を入れており、今後は専門学校生や高専生など若い世代のスキルアップに貢献していきたいと考えています。

す。学生の皆様のモバイル／IoT の学習成果を社会の発展につなげる「社会実装」という観点から、知識だけではなく、社会とのつながりを持ち、社会貢献する視点を持って課題解決ができる人材を育成していきたいと思っています。

IoTプラットフォーム“ナノコン”を使ったコンテストも開催

2019年より「ナノコン応用コンテスト」を開催しています。ナノコンとは、指先に乗るほどの超小型・低消費電力の電子基板モジュールを組み合わせたものです。簡単に組立ができ、比較的安価に様々なIoTシステムの創作が可能です。省人化、自動化のためシステムやサービス開発を大幅に効率化でき、DXを加速します。例えば、構造物の傾きを検知する装置として太陽光で動くLeafony (<https://docs.leafony.com/>; ナノコンの代表例) の利用を検討しています。本コンテストは、身の回りの社会課題を見つけ、ナノコンを応用し解決する作品を募集しています。コンテストに参加することで座学だけではない、実践力を持つことができます。昨年は日本電子専門学校の1・2年生の混合チームが最優秀賞を受賞しました。ナノコンは専門学校や大学の授業の教材として活用され、IoTに関するプログラミング学習や

IoTデータの可視化にお役立ていただいているいます。

専門学校へメッセージ

学生の皆様には、課題を解決するための基礎的な知識や事例の理解、更にはご自身でIoTシステムを計画、構築・運用ができるようになっていただきたいです。そのために、MCPCの人材育成活動を活用していただければと思います。最後に、MCPCでは6月に「専門学校 DX推進WG」を立ち上げました。これから専門学校の皆様と連携し、IT人材育成に寄与していきます。今後の活動にもぜひご注目ください。



宮坂 敏樹 氏

大手電機メーカー研究所出身で、一貫して無線システム技術開発責任者の業務に従事。技術商社で IoT や 5G の技術営業業務を経験した後、2022 年から MCPC に加入し、現在は事務局次長。

第9回「Unreal Engine エデュケーションサミット」開催報告 [PR]

5月18日に掲記イベントをオンラインで開催しました。Part1ではパートナー校限定で学生向けセッションを実施。Part2では講師の方を対象とし、Unreal Engine(以下、UE) 5の最新情報や次年度の授業実施のヒントとなる情報をお届けしました。そしてUEを利用したゲーム開発教育をテーマにパネルディスカッションを実施。学生が行き詰まるポイントや、学生作品のリリース展開時の対応などについて、活発な議論を交わすことができました。



お問い合わせ：UEエデュケーションサミット事務局
(株式会社ビーアライブ内)
メールアドレス：ue_summit@setten.sgec.or.jp

UEエデュケーションサミット事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

DX推進状況とRPA授業報告 産学連携LX人材育成部会 第3回例会開催 [PR]

6月12日に全国の専門学校の教職員を対象とした掲記イベントをオンラインで開催しました。今回はChatGPTなどで話題のAI活用の企業事例をはじめ、地域企業のRPA導入事例を発表。また河原電子ビジネス専門学校より、RPA授業事例として学生向けワークショップについて、学生の反応や今後の展望を報告いただきました。LX人材育成部会は今年度より、専門学校におけるRPA授業を本格展開して参ります。



お問い合わせ：(一社)日本RPA協会 LX人材育成部会事務局
メールアドレス：lx_dhr_contact@rpa-japan.com

LX人材育成部会事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

第11回Tシャツデザインコンテスト最優秀賞発表 [PR] 専門学校生対象Spring & Summer 2023

掲記の最終審査結果が発表されました。今回は合計1,495作品の応募があり、プロのバイヤーの方々による厳選なる審査の結果、19作品が優

【受賞者とその作品】



大原情報医療保育専門学校和歌山校
辻本 涼さん



KCS大分情報専門学校
野口 裕月菜さん



和歌山コンピュータビジネス専門学校
別所 愛心さん

秀賞として選出されました。優秀賞作品は2023年春夏向け商品として商品化し、4月より全国のジーンズメイト店頭およびジーンズメイト公

式通販サイトで販売しました。6月25日までの総販売数上位3位までの作品を最優秀賞に決定いたしました。また、最も実売数合計が多かった最優秀学校賞は「穴吹ビジネス専門学校」が受賞しました。受賞された皆様、おめでとうございます！

お問い合わせ

Tシャツデザインコンテスト事務局
TEL 03-3436-2035
Mail jmcontest@setten.sgec.or.jp

当事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.19 2023年7月発行 (年4回)

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-3 ルネパレティーレ汐留906 (株式会社ビーアライブ内)

[TEL]03-3436-2035 [Mail]setten-info@sgec.or.jp [URL]<https://setten.sgec.or.jp/>

協力：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）事業部事業課 検定試験センター

●【専門学校と経営】は、TCE財団の検定事業（J検・B検）と連携して、専門学校的産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。

「創る」「使う」「伝える」 情報検定 J検

URL <https://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 B検

Jobpass ジョブパス

URL <https://bken.sgec.or.jp/>